

感染症情報 9月2日～8日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	923例(堺市	72例)
②感染性胃腸炎	622例(堺市	55例)
③溶連菌感染症	355例(堺市	48例)
④RSウイルス感染症	174例(堺市	23例)
⑤ヘルパンギーナ	71例(堺市	5例)

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 131例(堺市 1例)

報告数による順位である。前週比15.5%増の2,306件であった。手足口病が府下で22%増、堺市で前週53例→今回72例であった。感染性胃腸炎が府下で前週から10%増、堺市で前週47例→今回55例であった。溶連菌感染症が府下で15%増、堺市で前週47例→今回48例であった。RSウイルス感染症が府下で30%増、堺市で前週12例→今回23例であった。ヘルパンギーナが府下で24%減、堺市で9例→5例であった。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で48例→43例で10%減。堺市で12例→11例であった。大阪府のブロック別で引き続き堺市が一番多い。

インフルエンザが府下で前週99例→今回131例は32%増であった。堺市で前週5例→今回1例であった。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,231例(堺市 130例)
大阪府定点 4.02 堺市定点 4.48

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
49	144	110	194	91	86	100	114	99	128	116	1231

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回1,368例→今回1,231例は10%減、定点当たり4.47→4.02。堺市で前週175例→今回130例は26%減、定点当たり6.03→4.48で大阪府のブロック別でワーストではなかった。

麻疹や風疹の報告なし。